

令和 7 年 9 月 10 日  
2020.09.10 会議室

令和 7 年第 17 回  
立川市教育委員会定例会

立川市教育委員会

## 令和7年第17回立川市教育委員会定例会

1 日 時 令和7年9月10日 (水)

開 会 午後 1 時 3 0 分

閉 会 午後 2 時 1 8 分

休憩① 無

2 場 所 208・209会議室

3 出席者

教育長	飯 田 芳 男		
教育委員	岡 村 幸 保	伊 藤 憲 春	
	小 柳 郁 美	堀 切 菜 摘	
署名委員	小 柳 郁 美		

4 説明のため出席した者の職氏名

教育部長	齋藤 真志	教育総務課長	臼井 隆行
学務課長	澤田 克己	指導課長	寺田 良太
統括指導主事	石井 和成	統括指導主事	野津 公輝
教育支援課長	高橋 周	学校給食課長	近藤 忠良
生涯学習推進センター長	鈴木 峰宏	図書館長	黒島 秀和

5 会議に出席した事務局の職員

教育総務課庶務係 和田 健治 齋藤 綾乃

## 案 件

### 1 協議

- (1) 柴崎会館の臨時休館について

### 2 報告

- (1) 令和8年度開設 自閉症・情緒障害特別支援学級の学級名決定について
- (2) 立川市中学生平和学習派遣事業について
- (3) 高松学習館の開館時間について
- (4) 中央図書館照明設備LED化工事に伴う臨時休館について
- (5) 小学生向けおすすめ本パンフレットへの寄稿について
- (6) 高松図書館の開館時間について

### 3 その他

## 令和7年第17回立川市教育委員会定例会議事日程

令和7年9月10日

208・209会議室

### 1 協議

- (1) 柴崎会館の臨時休館について

### 2 報告

- (1) 令和8年度開設 自閉症・情緒障害特別支援学級の学級名決定について
- (2) 立川市中学生平和学習派遣事業について
- (3) 高松学習館の開館時間について
- (4) 中央図書館照明設備LED化工事に伴う臨時休館について
- (5) 小学生向けおすすめ本パンフレットの寄稿について
- (6) 高松図書館の開館時間について

### 3 その他

### ◎開会の辞

○飯田教育長 ただいまから、令和7年第17回立川市教育委員会定例会を開催いたします。

署名委員に小柳委員、お願ひいたします。

○小柳委員 はい、承知しました。

○飯田教育長 本日は、協議1件、報告6件でございます。その他は議事進行過程で確認をいたします。

次に、出席者の確認を行います。斎藤教育部長、お願ひいたします。

○斎藤教育部長 本日第17回立川市教育委員会定例会への出席管理職でございます。教育部長、教育総務課長、学務課長、指導課長、石井統括指導主事、野津統括指導主事、教育支援課長、学校給食課長、生涯学習推進センター長、図書館長、以上でございます。

---

### ◎協議

#### (1) 柴崎会館の臨時休館について

○飯田教育長 それでは、1協議(1)柴崎会館の臨時休館について、に入ります。

鈴木生涯学習推進センター長、説明をお願いいたします。

○鈴木生涯学習推進センター長 では、柴崎会館の臨時休業についてご説明させていただきます。

柴崎会館におきまして、屋外受変電設備の更新作業を実施するにあたり、停電が発生するため、立川市学習等供用施設条例の規定に基づき、臨時休館としたいと考えてございます。

期間は、令和7年12月15日月曜日から12月19日金曜日、休業する業務としましては、柴崎会館の指定管理者が行う業務の全てでございます。

周知方法につきましては、「広報たちかわ」10月10日号に掲載、今回の教育委員会定例会でご承認をいただきました後、市のホームページへの掲載、館内掲示、そして令和7年10月1日金曜日の一斉受付時に来館者への周知を行ってまいりたいと考えております。

説明は以上です。よろしくお願ひいたします。

○飯田教育長 説明ありがとうございました。

これより質疑に移ります。説明内容を踏まえ、ご質疑をお願いいたします。

〔「ありません」との声あり〕

○飯田教育長 ないようございます。それではお諮りいたします。1協議(1)柴崎会館の臨時休館について、は提案のとおり承認することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」との声あり〕

○飯田教育長 異議なしと認めます。よって、1協議(1)柴崎会館の臨時休館について、は承認されました。

---

## ◎報 告

### (1) 令和8年度開設 自閉症・情緒障害特別支援学級の学級名決定について

○飯田教育長 続きまして、2報告(1)令和8年度開設自閉症・情緒障害特別支援学級の学級名決定について、に入ります。

高橋教育支援課長、説明をお願いいたします。

○高橋教育支援課長 それでは、令和8年度開設自閉症・情緒障害特別支援学級の学級名決定について、ご報告いたします。

現在、第六小学校及び立川第四中学校では、令和8年度の自閉症・情緒障害特別支援学級の開設に向けて準備を進めております。市内の特別支援学級は、例えば、第一小学校の「あおぞら学級」、立川第一中学校の「I組」などのように、学級名を各校で検討し、名称をつけていますが、このたび、第六小学校及び立川第四中学校について、各校で学級名を検討し、決定しましたので、ご報告いたします。

学級名につきましては、第六小学校が「はごろも学級」、立川第四中学校が「A組」となりました。今後は特別支援学級の設置校が決定した学級名を用いて、広報等で案内をしていきます。

報告は以上です。

○飯田教育長 説明ありがとうございました。

これより質疑に移ります。説明内容を踏まえ、ご質疑をお願いいたします。

小柳委員。

○小柳委員 ご説明ありがとうございます。

第六小学校の「はごろも学級」はイメージできますが、立川第四中学校はなぜ「A組」なのか、教えてください。

○飯田教育長 高橋教育支援課長、お願いします。

○高橋教育支援課長 六小の「はごろも学級」については、児童や教員が学級名の候補を出して投票により決定したと聞いております。中学校は、例えば特別支援学級の設置校の一中、二中、五中のクラス名を見てもアルファベットや数字の表記となっております。四中について特に生徒の投票等は行っておりませんが、通常の学級が1組、2組となっているので、アルファベットで表記をしたということで、特別支援学校だからという理由で学級名に特別な意味を持たせずに、通常の学級も特別支援学級も違和感なく交じり合っているようなイメージで「A組」としたと聞いております。

以上です。

○飯田教育長 よろしいですか。

恐らく、四中はA組を固定で特別支援学級というふうにして、通常級はB組からにするのではないかなと思います。五中の10組も、通常級は1組から順について、10組まで使うことはないだろうということで10組にしたという経緯を聞いたことがあります。一中のI組も、アルファベット順でクラスをわりふったときにI組までは増えないだろうというのがあ

り、二中は2組以降が通常級になっているので、1を使ったというふうに聞いています。もともと一中なども「あけばの学級」のような名称がついていたと聞いていますが、いろいろな思いがここに込められており、配慮がされているんだと思います。

ほかにございますか。

[「ありません」との声あり]

○飯田教育長 では、ないようございます。これで、2報告（1）令和8年度開設自閉症・情緒障害特別支援学級の学級名決定について、の報告及び質疑を終了いたします。

---

## ◎報 告

### （2）立川市中学生平和学習派遣事業について

○飯田教育長 続きまして、2報告（2）立川市中学生平和学習派遣事業について、に入ります。

鈴木生涯学習推進センター長、説明をお願いいたします。

○鈴木生涯学習推進センター長 立川市中学生平和学習派遣事業についてご報告いたします。

まずは紙の資料を説明し、後半は当日の様子の写真をプロジェクターに投影しながら、ご紹介したいと思います。

まず、事業概要でございます。市内の中学生が被爆地である広島を訪問し、原爆ドームや平和関連施設を見学、被爆者の方から講話を伺うなどの平和学習を行い、広島を見て、聴いて、感じたこと、及び平和について考えたことを在籍校や市民の方に発信するものでございます。

この派遣事業でございますが、生涯学習推進センターで平成30年度から実施してございます。平成30年度、31年度と実施しまして、令和2年度、3年度は、新型コロナウィルス感染症の関係で中止となっております。令和4年度に再開しまして、それまでは1泊2日でございましたけれども、令和5年度から2泊3日で実施している状況でございます。

実施日時でございます。7月19日土曜日に保護者の方にも参加していただき、事前学習会及び事業説明会を行っております。この後ご紹介する写真は、主に事前学習会と、8月17日日曜日から19日火曜日の当日の派遣の状況をお伝えしたいと思っています。派遣後、事後学習会と報告会準備を2回程度行いまして、報告会を令和8年1月31日土曜日、立川教育フォーラムの中で、参加生徒が皆さまの前で発表するという流れになってございます。報告会に加えて、参加しなかった生徒への発信という部分も非常に大切ですので、在籍校での発表も行います。

参加者でございますが、今年度は、男子1名、女子8名でございました。1年の女子生徒が2名、2年の女子生徒が4名、3年の男子生徒が1名、女子生徒が2名でした。

募集方法でございますけれども、市内各中学校に生涯学習推進センターからチラシを配布しております、作文を書いていただくことが条件となっています。その採点結果により、各中学校より1人という狭き門でございますが、選考してございます。統括指導主事2人と

生涯学習推進センター長の3人で作文を選考いたしました。応募者は19名で、応募人数が伸び悩んでいる状況でございます。

同行者ですが、今年は飯田教育長に参加していただきました。また、寺田指導課長、生涯学習推進センター長、生涯学習推進センターの係長職の職員3名が同行しております。

行程の概略でございますが、初日は立川駅を8月17日日曜日に出発しましたが、日曜日出発ですとご家族の方が見送ることができ、加えて、3日目に帰ってくる時間は、夜仕事が終わってからお迎えに来られる方もいらっしゃるということで、日曜日から火曜日といったスケジュールを毎年組んでいるところでございます。現地の広島では、路面電車、JR線での移動となってございます。

それでは、プロジェクトで当日の様子を紹介していきたいと思います。

生徒の発表がメインでございますので、今回、ネタバレになってしまいますが、ぜひ1月の立川教育フォーラムでの生徒の発表を楽しみにしていただき、今回は参考に見ていただければと思っております。

それでは、写真の簡易的な紹介になりますけれども、よろしくお願ひいたします。

先ほど、最初に事前学習会及び事業説明会を行うというお話をさせていただきましたが、そこで事業の趣旨を説明させていただきました。そこに、昨年度の参加者代表で六中の生徒に来てもらい、感想や注意点などについていろいろ話していただきました。この日は事前学習会ということで、講演会も開催してございます。講演会は市民の方も参加できるものとなっておりまして、左側に写っている方がピースボランティアの方です。この方は被爆された方ではないのですけれども、ボランティアで広島の原爆投下の様子をお話しされており、事前学習会で当日の広島の様子であるとか、その方が知っている様々な情報を中学生に伝えていただき、中学生たちもしっかりと話を聞いておりました。

続いて、右側の写真でございますが、栄町の佐藤信子さん、昨年もお話をいただきましたが、広島で被爆された方でいらっしゃいます。90歳を過ぎていらっしゃる方ですが、当時は呉のほうにお住まいで、たまたま広島に電車で来ていたときに被爆したという体験をお話していただきました。中学生に平和の大切さ、戦争の悲惨さ、具体的な当時の広島市内の様子をお話していただきまして、中学生たちに加え、市民の方にも聞いていただきました。

このとき、今、写真にはないのですが、柴崎学習館の地下サブホールでパネル展を開催しており、そこで立川原爆被害者の会、広島平和記念資料館、そして広島市立基町高等学校の生徒と被爆者との共同制作による「原爆の絵」を見ていただきまして、皆さんに実際に感じていただきました。こういった取組を事前学習でしているところでございます。

続きまして、当日の派遣の様子に移ります。

こちらの写真は8月17日日曜日の出発の様子でございます。出発式ということで、グランデュオ前に集合しまして、この日は立川第一中学校の山口校長先生に来ていただきました。教育長より生徒や保護者の方々等に出発のご挨拶をいただいたところでございます。

お昼は新幹線の中でお弁当を食べ、広島駅に着きました。相鉄フレッサインという広島駅

から歩いて5分ぐらいのホテルに宿泊しました。昨年とは違ったホテルになります。路面電車で、平和記念公園に向かい、ガイドの木原さんという方に広島平和記念公園内でお話をいただくところでございます。公園内の様々なポイントを案内してもらいながら、当時の被爆の状況をお話いただくという取組です。

続きまして、こちらは島内科医院というところで、爆心地と言われるところでございます。原爆が投下されたところから、少し離れた島内科医院の上空約600メートルで原爆が破裂したというお話ををしていただきました。

続いて、原爆ドームを背に生徒を写した写真でございます。次に平和の鐘というところで、ご説明していただいているところと、女子生徒が鐘を突いている写真です。子どもたちは、興味を持って体験していました。

続きまして、こちらが原爆の供養塔でございます。いまだに遺族が分からぬ方がたくさんいらっしゃるというご説明も受けてございます。

こちらが、韓国人原爆犠牲者の慰靈碑というご説明がございました。

こちらは原爆の子の像の前で、参加した中学生と木原さんの写真でございます。こちらについても説明を伺いました。

こちらは、生徒たちと平和の灯の写真でございます。

続いて、広島平和都市記念碑（原爆死没者慰靈碑）の前でございます。献花ができる場所となっており、石棺の正面には「安らかに眠ってください、過ちは繰返しませぬから」という言葉が刻まれてございます。生徒たちも、お花を用意して献花をさせていただきました。

その後、広島平和記念資料館に移りまして、2時間ほど見学をしました。館内の写真は撮れていないのですけれども、外国の方も含め多くの方が見学をされていました。私たちは時間に余裕を持っていたので、それぞれの生徒のペースで見ることができたと思っています。

資料館の見学の後ですけれども、休憩中にアイスを食べている写真です。

続いて、資料館からホテルに戻りまして、夕食の時間でございます。

この日の夜は、夕食後1時間ほど、教育長から中学生たちへの講話の時間がございました。その中で、4年生の国語の題材の「一つの花」についてのお話があり、生徒たちが真剣に聞いていた姿が印象的でした。

これが1日目でございます。

続いて、2日目でございます。

2日目は、2つの施設と世界遺産の宮島を見学しました。1か所目の施設が本川小学校平和資料館でございます。こちらは原爆投下の際に爆心地に最も近い学校として実際に大きな被害を受けた学校でございます。校舎骨格を残して全焼、壊滅して、校長先生ほか10名の先生方と、400名の子どもたちが一瞬にして命を失った施設でございます。こちらの写真は、本川小学校平和資料館の前に慰靈碑がありまして、皆さんで手を合わせました。こちらはガイドのマツダさんにご説明していただいている写真です。生徒たちは本当に一生懸命聞いておりました。被爆前の校舎の様子を現した模型をマツダさんにご用意いただきまして、校舎

の形など、展示を用いて分かりやすい説明をしていただきました。

施設の中には、当時の状況をそのまま残している様々な展示があり、ご説明をいただきました。様々な展示物が各資料館にありますが、本川小学校平和資料館には、溶けたガラスの塊などが展示されています。

こちらの写真の模型ですが、もともと広島平和記念資料館にあった模型を移設したと聞いてございます。結構大きな模型でございますけれども、市内の被爆時の様子が再現されており、被爆の様子がよく分かるようになってございます。

そこから広島市、被爆した施設である旧日本銀行広島支店の横を通り、次に見学したのが袋町小学校平和資料館でございます。こちらは、原爆投下により木造校舎が倒壊、全焼しまして、鉄筋コンクリート3階の西校舎のみ残して焼失しました。約160名の教職員、児童が朝礼直後に被爆して、ほとんどの方が犠牲になったと聞いてございます。こちらはガイドの方がいるわけではないため、自由に見学しました。こちらもモニター上で様々な説明を受けることができる状況でございました。こちらは、当時残った校舎の一部が避難所となっており、被爆直後に壁面に学校のチョークなどで「誰々を探しています。」のような、家族などの安否を確認するための伝言が残っております。こちらが黒板に書いてある伝言でございます。こちらの写真はその壁面の伝言を見ているところでございます。

こちらは、袋町小学校平和資料館の展示物を生徒たちが見学している写真でございます。

生徒たちは、この後、フェリーに乗って宮島に向かいました。こちらは宮島の船の中から撮っている写真でございます。

到着後、食事を取るお店の方がガイドをしてくださるお約束になっていまして、そのガイドの方との様子の写真でございます。昼食を取りまして、厳島神社の大鳥居の前で写真を撮りました。ちょうどこの時間帯が干潮で、タイミングよく下に降りて写真が撮れる状況になっています。厳島神社のガイドの方に説明を受けながら見学をいたしました。その後、商店街が宮島にありますので、商店街を少し自由に散策しまして、ホテルに戻りました。

帰ってきまして、夕食の時間です。

2日目の夜は、寺田指導課長の講話と、生徒たちで2日間の感想を話し合っていただいたところでございます。

続いて、3日目になります。最終日でございますが、まず朝食を取りまして、体験講話の聴講となります。ノーベル平和賞を受賞した日本原水爆被害者団体協議会の代表理事の田中聰司さんという方で、中国新聞社の報道記者、論説委員なども務めた方です。こちらは講話の際の写真でございますが、被爆当時は1歳5か月で、母の実家の広島で被爆したということです。実は、被爆後、東京に来て昭島に住んでいて、立川を通って通学をしていたそうでございます。被爆者の差別体験というお話をされていまして、被爆によるがんを患い、今でも発病の恐怖と闘っているお話を伺っています。お母さんの家族6名のうち4名が被爆で命を落としたという話を聞きました。

また、病気だけではなく、差別や貧困も実態の1つとしてあり、中学生に対して、平和に

ついてしっかり考えることが、周りの方や自分自身を傷つけないことにつながるというようなご説明をいただきました。

最後に、集合写真を撮らせていただきました。

この体験講話を後にしまして、恒例となっていますお好み焼き村というところで、お好み焼きを食べて、広島駅から新幹線で立川に帰ってまいりました。保護者の方含め大勢の方に出来迎えていただいて、安心いたしました。大きな事故もなく、体調を崩す生徒もおらず、帰ってこられました。また、生徒だけではなく、保護者の方も本当に穏やかな表情で皆さん迎えに来られているのが印象的でした。

先ほども申し上げましたとおり、事前学習会等、3日間の広島での学習を中心に発表させていただきましたが、これから生徒たちは事後学習会、立川教育フォーラムでの発表、そして在籍校での発表等を行います。その中で、多くの生徒たちや多くの市民の方に伝えていただきたいと思いますので、私ども生涯学習推進センターとしても見届けたいなと考えてございます。

中間的な発表になりますが、ご報告とさせていただきます。

以上でございます。どうもありがとうございました。

○飯田教育長 説明ありがとうございました。

これより質疑に移ります。説明内容を踏まえ、ご質疑をお願いいたします。

岡村委員。

○岡村委員 猛暑の中、お疲れさまでした。ありがとうございました。

映像で、画像で見せていただきまして、様子がよく分かりました。

今年の8月6日とか8月15日頃、テレビを見ていて、8月6日は何の日かということを若い人たちに聞くような特集やニュースがありました。インターネットで調べたのですけれども、NHKの調査では、8月6日は何の日か知らないという子が7割と出ていました。渋谷の若者100人にアンケート調査を行いましたという結果は、8月15日が終戦記念日であることを知らないという反応も多いということでした。また、高校生が対象の調査では、約50%の子が終戦の日を知らない、答えられないという結果でした。光村図書出版株式会社の小・中学生への調査で、周りに戦争体験を語ってくれる身近な人がいる子は激減して、4人に3人は周りにそういう体験者がいないという調査結果があつたりしました。そういう状況の中で、とてもすばらしい取組だと思います。

それから、身近なところでは、私もNPO法人立川教育振興会で仕事をさせてもらっているのですけれども、前の理事長の中野隆右さんと、現副理事長の豊泉喜一さんのお2人から、我々しか直接戦争体験のことを語れる人がいなくなるので寂しい、いろいろ話しておきたいという話があつたので、私が企画して、お2人にインタビューをして、会報誌の「教育立川」に特集で記事を作らせてもらいました。そこでは、当時の子どもたちの生活、どういうお弁当を持っていったかとか、当時の大変な子どもたちの様子であるとかをお話いただきました。戦後80年の今年、ホームページに再掲載しています。そのように、体験講話をお話くださる

田中聰司さんのような方はご高齢ということもあります、ほとんどいなくなられてきているわけで、非常に大事な取組だなと思っております。

今年度の教育フォーラムを楽しみに、私も見させていただきたいと思います。それで、この事業概要の在籍校や市民に発信するということで、ぜひ広く知らせて、この代表の子どもたちだけのものじゃなくて、市内の多くの子どもたちに伝えたり、新聞で伝えることもよろしくお願いしたいです。「広報たちかわ」がリニューアルし、より見やすくなりましたけれども、ぜひ「広報たちかわ」にも、できれば大きな報告記事が書かれるといいかなと、個人的な意見ですが思いました。

最後に2つあります。平和教育、平和学習と検索してみると、文部科学省のサイトでは、ユネスコ総会で採択された勧告の記事が載っているだけです。特に平和教育、平和学習についてはないのです。A Iが全部正しいとは思わないのですけれども、A Iによると、一応文部科学省の資料の中に、平和教育は教育活動全般を通して行うということが書かれていて、中学の社会科などの学習の中で教えるということが、出てくるのですね。中学校の教員をしている時にも、こういう問題に关心があったのですが、先生たちも目の前のこと忙しいし、こういう高い価値の問題で少し難しい問題というのは、取り組んでいる先生方、学校もありますけれども、なかなか十分にできていないというところがありますので、戦後80周年を機に取り組んでほしいです。平和教育、平和学習、こういう高い価値のものを身につけると、中学生は非常に成長するのですよね。目前の取組、身の回りの人間関係のことなどももちろん大事なのですけれども、こういう高い価値の教育をうけて、特に中学2、3年生あたりが急激に成長するのを見ていますので、この子たちもきっと成長していくと思いました。

最後に、市内で歴史を学べる散策の事業に取り組んでいるのですけれども、砂川国民学校がもともと現八小の場所ではない、北側の幸町の児童公園の中にあったのですよね。そこに戦争の空襲により焼けた砂川国民学校の遺構として、小さいものですが、壁、塀などが、並んで残っているのです。豊泉喜一さんは、これはぜひ遺構として、案内板ぐらい、ここはこういうふうに戦争で焼けた小学校の跡であると分かるといいなどよく言われており、市内の歴史の名所・旧跡などには看板等がありますけれども、そこにも、ちょうど児童公園で場所もあると思うので、案内板などがあるといいかなといつも思います。感想と意見です。

○飯田教育長 9名の中学生、とてもよく勉強して参加されていたと思います。

ほかに委員の皆さん、ご意見等ありますか。

〔「ありません」との声あり〕

○飯田教育長 では、ないようございます。これで2報告（2）立川市中学生平和学習派遣事業について、の報告及び質疑を終了いたします。

---

## ◎報 告

### （3）高松学習館の開館時間について

○飯田教育長 続きまして、2報告（3）高松学習館の開館時間について、に入ります。

鈴木生涯学習推進センター長、説明をお願いいたします。

○鈴木生涯学習推進センター長 高松学習館の開館時間について、ご説明させていただきます。

高松学習館は、外壁落下防止対策のための防護ネット設置工事の影響により、平日の開館時間を令和7年9月末までの予定で、午後6時から午後10時までに変更して運営しておりました。工事が早期に終了したため、9月16日火曜日より通常の開館時間に戻すこととさせていただきます。

開館時間は、通常どおり午前9時から午後10時までとなります。

なお、周知につきましては、市ホームページ、Xに掲載と、館内の掲示で行っていきたいと思っております。

報告は以上です。

○飯田教育長 説明ありがとうございました。

これより質疑に移ります。説明内容を踏まえ、ご質疑をお願いいたします。

〔「ありません」との声あり〕

○飯田教育長 では、ないようございます。これで2報告（3）高松学習館の開館時間について、の報告及び質疑を終了いたします。

---

## ◎報 告

（4）中央図書館照明設備LED化工事に伴う臨時休館について

○飯田教育長 続きまして、2報告（4）中央図書館照明設備LED化工事に伴う臨時休館について、に入ります。

黒島図書館長、説明をお願いいたします。

○黒島図書館長 それでは、中央図書館照明設備LED化工事に伴う臨時休館について、ご報告いたします。

中央図書館4階の照明設備LED化工事のため、令和7年11月10日から12月15日まで4階の児童図書フロアを臨時休館いたします。

児童図書フロアが臨時休館となる期間は、中央図書館2階カウンター前スペースに臨時児童図書コーナーを設置するほか、予約児童図書資料等の対応を2階で行い、業務の一部を継続してまいります。

報告は以上です。

○飯田教育長 説明ありがとうございました。

これより質疑に移ります。説明内容を踏まえ、ご質疑をお願いいたします。

堀切委員。

○堀切委員 1つ教えていただきたいのですけれども、LED化の工事というのは4階だけ、ほかのフロアはどういうふうになっているのか、教えてください。

○飯田教育長 黒島図書館長。

○黒島図書館長 LED化につきましては、今年度は4階のみ工事を行います。来年度、2階、

3階の工事を行う予定としてございます。

以上です。

○飯田教育長 ありがとうございます。

堀切委員。

○堀切委員 ありがとうございます。

こここの臨時児童図書コーナーの設置予定場所というのは、いつもは展示を行っている場所だと思います。大人向けに情報を伝えるような展示がよくされているのですが、絵本の展示はあまりありません。アートとして大人にとっても絵本はとても五感に訴えて癒やされると思うので、私ももし子育てをしていなかったら、絵本をあまり手に取ることはないと思うので、ぜひ大人も手に取りやすいような展示、結局魔法使いと泥棒と怪獣とおばけとみたいな感じで題材は似ているのですけれども、全然書かれ方が違うので、ぜひ大人も楽しめるような展示にしていただけたらなと思いました。

以上です。

○飯田教育長 ありがとうございます。

ほかいかがでしょうか。

[「ありません」との声あり]

○飯田教育長 ないようでございます。これで2報告（4）中央図書館照明設備LED化工事に伴う臨時休館について、の報告及び質疑を終了いたします。

---

## ◎報 告

### （5）小学生向けおすすめ本パンフレットへの寄稿について

○飯田教育長 続きまして、2報告（5）小学生向けおすすめ本パンフレットへの寄稿について、に入ります。

黒島図書館長、説明をお願いいたします。

○黒島図書館長 小学生向けおすすめ本パンフレットへの寄稿について、ご報告いたします。

市立小学校に通う小学1年生と4年生に配布する基本図書の案内パンフレット「この本だけ好き！」に、市内企業に所属し、フェンシング選手として活躍している江村美咲選手から、小学生のときに好きだった本の紹介や小学生に向けた読書をお勧めするメッセージを寄稿いただきました。オリンピックメダリストからのメッセージを掲載することで、小学生の読書への興味を深め、読書活動の促進を目指していきます。

なお、パンフレットは、令和7年10月中旬に、学校を通して児童に配布する予定です。

以上となります。

○飯田教育長 説明ありがとうございます。

これより質疑に移ります。説明内容を踏まえ、ご質疑をお願いいたします。

[「ありません」との声あり]

○飯田教育長 ないようでございます。これで2報告（5）小学生向けおすすめ本パンフレット

トへの寄稿について、の報告及び質疑を終了いたします。

---

## ◎報 告

### (6) 高松図書館の開館時間について

○飯田教育長 続きまして、2報告（6）高松図書館の開館時間について、に入ります。

黒島図書館長、説明をお願いいたします。

○黒島図書館長 高松図書館の開館時間についてご報告いたします。

先ほど、生涯学習推進センター長から、高松学習館についての説明がございましたけれども、それと同様の内容になってございます。高松図書館につきましては、平日の開館時間を令和7年7月から9月末まで、平日の午後6時から午後7時までに変更して運営しております。今回、工事が早期に終了したため、9月16日火曜日から通常の開館時間に戻します。通常の開館時間は、平日は午前10時から午後7時まで、土曜日、日曜日、祝日は、午前10時から午後5時までとなります。

なお、利用者への周知につきましては、図書館ホームページや図書館X、館内掲示、図書館カレンダーに掲載してまいります。

報告は以上です。

○飯田教育長 説明ありがとうございました。

これより質疑に移ります。説明内容を踏まえ、ご質疑をお願いいたします。

〔「ありません」との声あり〕

○飯田教育長 ないようでございます。これで2報告（6）高松図書館の開館時間について、の報告及び質疑を終了いたします。

次に、その他に入ります。その他、ございますか。

〔「ありません」との声あり〕

○飯田教育長 その他はないようでございます。

---

## ◎閉会の辞

○飯田教育長 それでは、次回の日程を確認いたします。次回、第18回定例会は、令和7年9月25日、午後1時30分から101会議室で開催いたします。

これをもちまして、令和7年度第17回立川市教育委員会定例会を終了いたします。

午後2時18分

署名委員

.....

教育長